

市町村合併を考える

都留市、西桂町、秋山村、道志村を対象とする市町村合併協議会の設置を求める住民請求が、それぞれの住民によっておこなわれたことは、先月号の広報で紹介しました。
今回は、この4市町村の現況として、土地利用状況、産業別人口、通学・通勤者の動向などについて紹介します。

※平成7年国勢調査より

面積及び土地利用状況（単位：km²）

市町村名	総面積	宅地		農用地		森林・原野		その他	
		面積	構成比%	面積	構成比%	面積	構成比%	面積	構成比%
都留市	161.58	4.77	3.0	4.23	2.6	136.56	84.5	16.02	9.9
西桂町	15.18	0.73	4.8	0.63	4.2	12.02	79.2	1.80	11.8
秋山村	45.14	0.26	0.6	0.71	1.6	41.26	91.4	2.91	6.4
道志村	79.57	0.30	0.4	1.03	1.3	75.77	95.2	2.47	3.1

①土地利用の状況

本市の土地利用の状況は、宅地4.77km²（3.0%）、農用地4.23 km²（2.6%）、森林・原野136.56 km²（84.5%）で、特に、森林の占める面積が全体の8割を超えています。

周辺町村の道志村、秋山村では、さらに9割を超える面積を森林が占めています。

産業別就業人口（単位：人）

市町村名	第1次産業		第2次産業		第3次産業	
	就業人口	構成比%	就業人口	構成比%	就業人口	構成比%
都留市	346	2.0	7,984	45.8	9,105	52.2
西桂町	85	3.4	1,283	51.3	1,135	45.3
秋山村	52	4.3	568	46.9	590	48.8
道志村	127	11.3	532	47.2	469	41.6

②産業別人口

本市では、第3次産業の就業人口が52.2%と最も多く、次いで第2次産業が45.8%、第1次産業が2.0%の順位となっています。

周辺町村では秋山村が本市と同じ順位ですが、西桂町、道志村では第2次産業の就業人口比率が高く、次いで第3次産業、第1次産業の順位となっています。

15歳以上通学・通勤者の動向（単位：人）

通学地 通勤地 居住地	関係市町村				県内				県外	合計
	都留市	西桂町	秋山村	道志村	富士吉田市	大月市	上野原町	その他		
都留市	15,697	376	35	28	1,506	1,224	182	1,166	845	21,059
西桂町	470	1,231	—	—	628	80	11	276	73	2,769
秋山村	117	—	728	—	10	55	138	14	323	1,385
道志村	107	—	—	824	82	18	—	60	138	1,229

③通学・通勤者の動向

本市における15歳以上の通学・通勤者の動向をみると、市内が最も多く、第2位は富士吉田市、第3位は大月市という順位となっています。

また、周辺町村（県外を除く）では、本市へ通学・通勤している人が、西桂町、秋山村では第3位、道志村で第2位という順位となっています。

※前回「職員数の状況」で、職員1人あたりの人口を紹介しましたが、これは一般行政職員数で人口（住民基本台帳）を割った数になります。 問合せ先 政策形成課